

令和6年度 第2回愛媛県渋滞対策協議会

議事概要

1. 日 時：令和7年2月19日（水） 10：30～11：50

2. 場 所：松山河川国道事務所 2F第1・第2会議室（WEB併用）

3. 議 題

- （1）これまでの経緯
- （2）主要渋滞箇所の評価
- （3）松山外環状道路空港線開通に伴う交通状況の変化と対応
- （4）今年度の通勤時間帯のTDM実施結果
- （5）今年度の観光期の経路誘導対策結果と次年度の取組み
- （6）今後の渋滞対策

4. 議事要旨

- 「（2）主要渋滞箇所の評価」において、伊予鉄高島屋前交差点（愛南町）の主要渋滞箇所からの解除について承認を得た。
- 「（2）主要渋滞箇所の評価」において、ETC2.0 データでは分からない低速度となる要因がある箇所は現地確認が必要との意見があった。また、主要渋滞箇所の評価における生活道路の取り扱いについて、公平性の観点を考慮するよう意見があった。
- 「（3）松山外環状道路空港線開通に伴う交通状況の変化と対応」において、「定時性の向上」の表し方について、一般の方が理解しやすくする工夫をするよう意見があった。所要時間において、時間帯別のばらつきと日変動のばらつきが混在しているため、切り分けて考えるよう意見があった。また、効果の見せ方の一つとして経済効果の算出などの意見があった。
- 「（4）今年度の通勤時間帯のTDM実施結果」において、効果の出し方をCO2削減以外にも参加者の生の声を記載するなど、工夫するよう意見があった。次年度は交通行動が変更しやすいと考えられる気温が高い時期での実施を検討するよう意見があった。また、昨年11月に実施したTDM施策に対する表彰企業について、承認を得た。
- 「（5）今年度の観光期の経路誘導対策結果と次年度の取組み」において、伊予市の道の駅「ふたみ」付近の国道378号は、引き続きモニタリングを続けるよう意見があった。また、P45の混雑区間や混雑地域は、課題があれば検討してほしいとの意見があった。